

海のたより



7月ナイト変更早朝レース
フィニッシュ直前のベベ

目次	行事予定
表紙 7月ナイト変更早朝レース	8月11-15日 ジャパンカップ
P 2 ベベ久々の優勝	8月26日 理事長杯ヨットレース
P 3 各艇コメント、	申込締切、19日
P 4 7月スモールレース、ホープ	9月16日 佐久島レース
P 5 ミドルボート参戦報告、ホーネット	9月23日 スモールレース
P 7 パールレース報告、ベベ	10月4日-7日 ぎふ清流国体、海陽YH
P 9 理事長杯案内他	

ベベポイントレース優勝記

猪股

どのぐらい前になるだろう、優勝記を書いたのは。
 久々にナイトレースに出るとTが言ってるが自分は還暦すぎてから ます
 ます夜が弱くなり
 あげくに海は荒れているらしい。乗るつもりはさらさらなく土曜の夜は行
 きつけの飲み屋で一杯やっていると
 ナイトは中止で早朝に変わったとの一報・・・となれば話は別、ならば
 早々に帰り体調を整えねばと
 店の外にできれば（ガメラ）のメンバーとバツタリ遭遇。帰るわけにはいかない。
 どのぐらい次の店にいたか覚えていない、モウロウとしたまま朝を迎えた。
 出航時間ぎりぎり船に乗りスピンのセットもできてないままスタート。
 良いわけない でも昨日船底を磨いたせいカスベリは（エリカ）の時より
 ましか。
 因縁のガメラと第一マークまでは併走 そこから次のマークまではクロス、
 ここでの走りはガメラは上り、スピード、コースどりすべてすばらしくか
 かなり差をつけられて帰りのフリーに、さて陸か沖か？
 後ろから見渡せることに慣れてはいるが陸にいったアルミスと沖にいった
 ルートリスでは明らかにルートリスが勝っていた。
 我々はなるべく最短距離でスピードも稼げるやや沖のコースを執った。が
 ガメラが同じコースだ。
 最終マークを回航するのを遠くで見ていると一番回航のルートリスか良い
 位置で回ったガメラの優勝だなと思えばベベも最後で回航。これで勝つには
 前の船がカームに捕まり待っていてくれないとなーと笑っていたら、神様
 はほんとにいるんだ。
 そのとおりになってしまった。最後のレグだけは全艇中ダントツでトップ
 タイム、こんなことは長いことレースしててもそうはない。
 久々の優勝祝宴会！に とでも思ったが私はまだ体調がすぐれず（昨夜の
 安いワインが？）辞退し 次のレースに向けてのコンデション作りに
 一人家路に舵を執った。神様に見捨てられないように。



ガメラの後からスタート



トップアルミスはスピンドウン



最終フィニッシュ、ベベ

7日(土)午後から強風が吹き荒れ、今日のナイトレースは・・・
 参加予定の艇が協議、レース委員長から早朝レースの提案があり、6時艇長会議、7時スタートに変更。
 6時の艇長会議でコースは6月と同じ、梶島ブイ回りにかけてい。
 7時スタート。風は振れるし強弱も・・・トップ争いはアルミスとルートリス。
 最終レグでトップは再びあるミスが、ところが大島過ぎから風が弱まり後続艇がどんどん追上げる。
 結果は最終フィニッシュのベベが修正では余裕の優勝でした。

7月ナイトレース、早朝レースに変更			スタート時刻	7:00:00			
距離	19.3 マイル		風速	5m/s			
コース	S-小島-豊橋潮流-梶島-豊橋潮流-小島-F						
			(A)		(B)	(A*B)	
セール No	艇名	艇種	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位
4825	BeBe	Pioneer 9FR/PB	0.913	5	4:12:29	3:50:31	1
4639	Gamela 3	Swing 31	0.950	3	4:09:32	3:57:03	2
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.012	1	3:58:26	4:01:18	3
4932	Lutris	Slot 31	0.991	2	4:06:06	4:03:53	4
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	0.980	4	4:09:33	4:04:34	5

ベベ

久々の優勝!! 最終レグでの風に恵まれ、全艇に差をつめ快勝。



カメラ

久々に出場したMCCレース。
ナイトレースが急遽早朝レースに変更となりましたが楽しませていただきました。
前日の晩、ベベの猪俣さんにつかまり、焼酎をしこたま飲まれたのが敗因です。

アルミス

スタートは予定通り上側から、スタート後すぐにスピニアップ。
豊橋ブイ手前でジェノマにチェンジ、上降ろしがスムーズにできた。
梶島に向けて風の振れに合わせてタックを返す。
西浦に寄せたルートリスに先行されるが、こちらも西浦につこんで挽回できた。
梶島ブイ手前で下振れしてタックを繰り返すことに。
回航後、前回の反省で西浦寄りコースを取ったが、沖のコースを取ったルートリスにまた先行された。
豊橋ブイで約3分の遅れ、ルートリスはスピンを下ろしたが、こちらはスピんで頑張り再逆転。
フィニッシュ手前で風が落ち、後続艇に追いつかれるが、なんとかファーストフィニッシュできました。



ルートリス

本日のクルーは4人。1人はスタートに間に合わずハーバーへ残留。
スタート後は大島小島から一番離れたのがまずまずの結果。
アルミスに続いて梶島へは最短コースをとる作戦で一時はアルミスの前に出たが2番手で回航。
アルミスは極めて岸寄り、ルートリスは沖出しで、一時はトップをキープ。
途中スナメリ10頭程度と併走できた。
潮流ブイをトップ回航しジブへチェンジしたが、あまり走りがよくない。
アルミスはスピンのままでドンドン迫ってくるので、こちらも再度スピンへチェンジ。
最後のアンラッキーは大島東で風が弱まりアルミスがトップへ。
20分ほどの間、風の振れと戦って何とかゴール。
今日は特段のミスもなく2番手でナイスセーリングでした。



オデッセイ

オデッセイは2連勝を狙いにいきましたが失速してしまい残念でした。
ブロックの勝利ではない事を証明するためにもあと1勝したいと思います。

7月スモールクルーザーポイントレース

ホープ 北河



ホープは今シーズン初めてのポイントレース参戦である。メンバーは4名、スキッパーは助っ人の磯部氏（ナルミ）で、のんびりレースのつもりで参戦しました。

艇長会議でコースは小島東のブイ2往復、コース短縮あり？風は南東から東より5m以下の微風である。

スタートラインはリミット優位で各艇狙っているが余裕のあるスタート（出遅れ）である。AYAがスタート後すぐにタックし大島方向へ、ハニービー、はやぶさもタックして行く。ホープはスピードがなく最後尾となつてはやぶさとハニービーを追いかけて行くが、乱れた風をきらって豊橋方向へタック。しばらくは一人旅で心細かったが、艇速もそれなりにありしばらくこのコースを伸ばすことにした。大島方向の他艇より艇速は良いように思えた。

小島ブイを確認しタックするとジャストオンコースである。

また他艇よりかなり先行することができた。

小島ブイ（上）をトップ回航、スピニアップはドタバタであるがトラブルなくできた。



あとは最短コースを選び、ポジションも初めてのメンバーで、下マークを何時に回航できるか（12時過ぎたらコース短縮）ワイワイ言いながらやっていました。

後続艇はスピード重視で豊橋方面の風を取りながら距離を詰めてきている。AYAのスピードが非常に良い。が赤灯台を確認するとS旗（コース短縮）。フィニッシュまでの距離からして1分近くの差はありそうなので、トラブルのないように声を掛け合いながらトップフィニッシュすることができた。次回は蒲郡マリンカップ、理事長杯で頑張ります。コミッティーの皆さんありがとうございました。

コメント	H24年7月22日 スモールクルーザーレース第4戦 南東の軽風、2往復の予定、風によってコース短縮ありでスタート。 各艇、風の無い中を苦労しながら進めた。HOPEだけが早々とタックし東に向かう。他の艇団はポートタックのまま小島方面へ。いちばん西を走る SexyYou Jr.は、コミッティ(Viking)からは座礁したように見え、少し心配になる。 上マークは小島ブイ、最初の回航は HOPE、少し遅れて AYA が回航。この時点で約 33 分経過、スピニアップの艇速次第では予定の1時間で下回航できるかどうか微妙に。コミッティーはコース短縮を決定、S旗掲揚された。 結果は下記のとおり HOPE がファーストホーム、優勝した。								
	名称	7月ポイントスモール							
コース	S-小島ブイ-F								
距離		2.0	マイル						
風速		5m 以下							
スタート		11:00:00							
							(B)	(A*B)	
セール No	艇名	TYPE	所属	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
6496	Hope	YAM21C	SCR	0.817	12:05:40	1	1:05:40	0:53:39	1
5426	AYA	YAM21S	SCR	0.822	12:06:39	2	1:06:39	0:54:47	2
258	SexyYou Jr	YAM21C	SCR	0.817	12:15:11	5	1:15:11	1:01:25	3
4418	HoneyBee	YAM23	SCR	0.844	12:14:05	4	1:14:05	1:02:32	4
6564	HAYABUSA	Far727	SCR	0.861	12:12:40	3	1:12:40	1:02:34	5

全日本ミドルボートに参加して

HORNET 正木 宏

◇戦い終えての所感

今回のレースを前に、全日本ミドルボートという性格上、出場艇のレベルが高いことや、ミーティング・マーク回航で輻輳するであろうことから、不安と緊張感があった。そして、3日間で最大10レースをやりたいという運営の意図のもと、実際に9レースが行われたが、東海水域やクラブレースとは雰囲気異なる中で、今まで余り経験がないほど3日間のヨットレースに自ずと神経を注ぎ込んだ。その3日間、とても濃密な時間空間を体験したように感じた。

過酷にも1日4レースをこなした2日目が終わる頃から、精神・体力の疲労感とともに、じんわりと充足感やレースの楽しさも感じる事ができた。このような感覚は、高温多湿の厳しい天候下、体力の限界に近いところで頑張った、ハイレベルな艇と同じ海面で競い合ったというだけでなく、レース前は不安であったものが、今回メンバーでレースを重ねていくうちに多少なりとも手応えを感じられたからかもしれない。

◇レース環境

レース運営は素晴らしく、スタートやコースの設定・変更の判断、オレンジフラッグの活用など、風況に応じた対応策等、事前に十分練られたうえで行われていると感じられ、風待ちや、度重なるゼネリコがあったにもかかわらず9レースも実施できた。

風は全体的に南方向で南東から南西の間で振れ、強弱はあったが大よそ10から15ノットで絶好のレース条件だった。



◇レース

果たして、無事に3日間こなせるだろうか、全日本クラスの艇と同等に走ることができるだろうか……。レーティングは参加28艇中、下から3番目。下の2艇、ホライズンには高木裕を始めプロ2、3名が乗り、クラリスにはミスターJ 24 中野氏が乗る。ビリを引く可能性は十分有り緊張するが、ノーケース、ノートラブル、グッドスタートで行こう。

レース海面へ行くとその雰囲気もあってか、気持ちのテンションが上がってくる。風が安定せず最初からスタート延期となって、やる気を削がれそうになるが、本部船の信号とともにスタートに集中する。

ゼネリコを繰り返した後、オールフェアのスタート。そう悪くないスタートと思うが、走らせることに傾注し過ぎたのか、2上へのコースで振れと逆に走ってしまい後続艇に一気に先行されてしまう。第2レースはスタート前ポートが2艇突っ込んできて衝突を回避してやや遅れてスタート、その後は走り集中して着順を少し上げる。1日目は無我夢中でやっているうちに終わってしまう。晴天ではないものの蒸し暑く、汗が滴り落ち続け、一人1リットル以上用意した飲み物が足りなくなるほど。

2日目。過酷な4レース(第3~第6レース)。2レース終えた時点で結構疲れてしまう。食事をする間もなく3レース目へ、3レースが終わると風の状況もあって少し休憩時間ができ、弁当をかき込み4レース目へ。それまでは1.2マイルだったが、最後は1.5マイルにコース拡大された。ゼネリコが多く(6~7回?)同じような南系の風ばかりだったので、残念ながら一つ一つのレースまで詳しく覚えていないが、第3レースはスタートがうまくいって半分より前で上マークを回れたり、1日目よりも上位で走ることもできるようになる。しかし結果は、比較的良かったと思われた第3・第5レースでも修正15位で、半分より上にはいっていない。

3日目。第7レースでは、スタートで位置取りを気にし過ぎていて失速してしまうが、その後の上りの走りで挽回。最終第9レースでは、スタート後のスピードはないが、風の振れが味方したうえ走りもまずまずとなって、初めて着順で半分より前（13位）に入り、最もいい結果（修正6位）に。

レースを重ねるにつれ、息を合わせたクルーワークができるようになって、みんなの声も出るようになっていった。ハイレベルなレースで刺激を受けながら実戦を重ねる中で上達がみられたのか、日を追うごとに少しずつ順位も上がり、手応えを感じる事ができた。（逆を返せば練習不足は否めないが・・・）



◇総括

速い艇はやはりポートコントロールに熟練しており、たとえスタート失敗しても素早くスピードビルドしたり、マーク回航での輻輳からするすると抜け出して行ったりする。

勝つためにはポートスピードが第一、そのための風・波への対処（ハンドリング、セールトリム、バランス）を的確に。あとは、セッティングもあるだろうが、ロスのないクルーワークとコンビネーション。それらを実行するメンタリティーとチームワーク。勝つためには当たり前なことを体感したレースでもあった。

ちなみにスタートは最も緊張感みなぎる場面で、位置取りのシビアな駆け引きや、スピードの付け方等勉強になるところが多かったが、ノースセール豊田氏の採点（航跡から）ではレースによって採点不能（0点か？）有り、100点も有りだったが、平均70点を付けてもらった。

参加して本当に良かった。企画・運営に携われた方々、参加艇、ホーネット参加メンバーに心より感謝したい。



<ホーネットレース成績>

日	R	総合（28艇）		クラスC（8艇）	
		着順	修正	着順	修正
1	1	26	24	7	8
	2	22	21	6	7
2	3	21	15	5	6
	4	22	17	5	5
	5	22	15	4	5
	6	24	21	6	7
3	7	24	16	5	6
	8	16	12	3	3
	9	13	6	2	2
	総合	—	16	—	6

<参加メンバー> ホーネットの他MCC3チームから参加。体重制限から8名で乗艇

- ① バウ 多田
- ② バウ補助等 都築（ベベ）、
稲垣（アルミス）
- ③ ピット 北河
- ④ ジブ・スピン 佐々木（アルミス）
- ⑤ ジブ・スピン 川前（ルートリス）
- ⑥メイン 高橋
- ⑦メイン補助等 三戸
- ⑧ヘルム 正木

BEBE パールレース

前田次雄

MCC梶島レース終了後の蒲郡荘にて、BEBEのT氏がパールレースに参加者を募集していた。以前からこのレースに何時かは参加して見たいもんだと思っていましたが、1週間近くの休暇を取ることがなかなか出来ず今日まで来てしまったが、今回は、休暇も取れそうです。去年は、風が無く船は漂い暑いレースだったようですので、熱中症に成らぬ様に水分を取るためにもA栄養ドリンクは十分あるとの事でしたので、この言葉に賛同し即お願ひして参加する事に。今回は、T氏；S氏；T a氏；N氏；私の5人で参加します。

7月25日のPM21:00に集合してまず買出しにスーパーに行き第一がA栄養ドリンク*水*氷食料等を仕入れられます。船が少し沈んだような気がしますがその内に大気に散布すれば少しずつ浮き上がると思います。ハーバーで準備している間は、蒸し暑く不快指数は、最高でした。23:00に出航し、風が涼しく感じ、自然に感謝し、神に祈り右上の写真のように成ります。



航海の安全を祈って



26日AM4:40
伊良湖水道巨大船通過

伊良湖の手前でスクリューに何かが撒き付いたような音がします。26日AM2:30頃急遽伊良湖港に入りT氏が潜り点検したが、すでに外れているとの事で皆安心して、ここで2時間ばかり休む事にしました。26日AM4:30 伊良湖漁港を出航し水道では、巨大船を避けながら、機走で五箇所を目指します。布施田手前の魚網に阻まれ、大きく沖出して布施田水道に入る。何時来ても魚網にあたり、必ず沖出しする事に成る。後ほどに中村会長に尋ねたところ岸一杯に通れば大丈夫との事でした。五箇所VOCにAM11:30頃に入港する。

昼食は、ハーバーの車を借りて(500円)山を越えて大衆食堂丸魚に行き、その後、名前は忘れたが、虎の顔がマークのスーパーに行き氷：食料等を購入する。

16:00より前夜祭パーティが始まる。まだ日差しがあるので、大変暑い、参加者は全体にOld Boyが多く、ヨット人口は若い人の入りにくい遊びかなと思ってしまう。日が沈むに連れて、VOCの廻りは木々が多くだんだん涼しくなり又蚊が居なかったのが大変助かり、明日からのレースの為に早めに床に着き朝までぐっすり寝る事が出来ました。



27日いよいよ今日レースがスタート。その前の腹ごしらえにT氏が食事を作ってくれたのが、カツオのタタキで、にんにく、たまねぎ、ポン酢で漬けた料理は、最高にうまかった。今回サンドイッチ、雑煮、等を大変おいしく作ってくれました。

AM10:00頃からそれぞれの艇がレース海面向かう。我々も出航準備が整い次第レース海面に向かうが少し不足してる氷補給に湾口の田曾浦漁港に入る。1昼夜冷たい飲料水が補給されるだけの量を確保して、レース海面に出ると風は5~6M位だと思う。(風速計が無いので感で表示します)



出航するべべ



ダンシングビーンズ



ホーネット

MCC海のたよみ 8月号・MCC海のたよみ 8月号・MCC海のたよみ 8月号



目標のブーメラン

本部艇を2-3周して本部艇寄りからスタート。

今回の目標は同じクラスのブーメラン。少しでも早くフィニッシュするように気合を入れて、A栄養ドリンクで乾杯。

ジブで1時間半程帆走して、スピンを上げる。
和具漁港置き4NM沖を14:00通過する。
これから27時間スピンランで帆走することになる。

- 15:00 大王岬沖 6NM
- 19:00 田原沖 25NM
- 21:00 磐田沖 22.6NM
- 28日4:50 御前崎沖 13.3NM

駿河湾中間あたりで風が弱くなり、3~4ノットで帆走
この辺でブーメランは沖に出て行く

- 10:15 石廊崎沖 10NM

今日も大変蒸し暑いがセール影に入ると風があるので少し涼しい

- 14:20 利島を廻り23時間ぶりにセールが右に出る
これまでは、スピンランで、6~7ノットで帆走してくる。



利島を越えてジャイブ
大島を前方に見る。
傘雲が掛かっている。

大島を通過して前方に見えたレース艇は、ジャイブして三浦半島方面に向う、風は8~10ノット位だと思う。

江ノ島は、真前の方向なので最短距離を行くために真ランで走る事にした。

途中で数隻の本船が東から西に向かう船に出会ったがその内の1隻にミートするかなと思ったら針路変更をしてくれたので、大変助かった。

艇速は、8~11ノットオーバー。サーフィンしながらこのまま江ノ島まで明るい内に入りたかったが暗く成ってきたのでスピンで入るのは波が高く危険な為ジブを揚げ観音開きで4.5NM帆走する。

フィニッシュ近くまで来たら真っ暗でおまけに波が誠に悪く船は左右に大きくローリング。T氏がGPSを見て指図する。本部船のサーチライトが見えるまでは、真っ暗な闇の中を波で海面が凸凹に見えただけで、その中を吸い込まれるような錯覚がしました。

本部船のサーチライトが見えた時はホットしたがサイドのライトが今度はどこか判らず心配する。本部艇に近づくにつれ判明し、無事フィニッシュ長いレースが終わり感激しました。ブーメランより少し早く入ったと思いましたが30分ばかり先にフィニッシュしており残念でした。

成績はクラスで3位、総合で25位との事でしたのでドリンク剤で無くうまい酒が飲めました。



観音開きに

BEBEの皆さん楽しいレースに参加させてくれありがとうございました。

MCC海のたよみ 8月号・MCC海のたよみ 8月号・MCC海のたよみ 8月号



★★★ オープン参加のクルーザー型ヨットレースを次の日程で開催します。

- レース名 第19回理事長杯ヨットレース
- 主催 公益財団法人愛知県都市整備協会
- 開催日程 平成24年8月26日(日)
- 開催場所 海陽ヨットハーバー 蒲郡市海陽町1-7
- 参加資格 小型船舶安全検査に合格しているクルーザー型ヨット(乗員2名以上)
- 参加料 無料
- 表彰 [総合] 優勝~3位、飛び賞 [スモールクラス] 優勝
- 申込方法 所定の申込書に必要事項ご記入の上、
海陽ヨットハーバー管理事務所窓口へお申し込みください。
(FAX又は電話予約可) FAXによる申込み用紙はプリントアウトしてご使用ください。
- 申込期限 8月19日(日) ※参加定員は先着20艇です。
- お問い合わせ 海陽ヨットハーバー管理事務所 TEL<0533>59-8851 FAX<0533>59-8185

レース公示(抜粋)

- | | |
|------|--|
| 後援 | 愛知県/蒲郡市 |
| 協力 | 三河湾クルージングクラブ |
| 競技日程 | 受付 9:00~9:30 |
| 艇長会議 | 9:30~10:00 |
| スタート | 11:00 |
| 表彰式 | 14:00 |
| 適用規則 | 本大会は、「セーリング競技規則」に定義された規則を適用する。 |
| 注意事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 出艇するしないの判断は、各自の責任で行ってください。 2) ライフジャケットは必ず着用してください。 3) 主催者側は、レース参加によって生ずる海上・陸上における人身事故又は艇の損傷等に対する責任は負いません。 4) あらかじめ有効な傷害保険等のご加入をお勧めします。(主催者側でご用意もしております。) |

**理事長杯ヨットレースはMCC年間レースの一つです。MCC参加料が必要です。
蒲郡荘でアフターパーティ開催します。**

蒲郡花火大会、3尺玉、見事です。



MCC海のたより 8月号・MCC海のたより 8月号・MCC海のたより 8月号